



DaigasエナジーのLNG輸送における 運行状況見える化の取り組み

効率的なLNG輸送を支える最新の監視技術

会社概要と物流の社会的役割

Daigasエナジーの事業とLNG輸送の位置づけ

LNG輸送の社会的役割

都市ガス向けLNG輸送は家庭や病院などの生活基盤を支える重要な社会インフラです。

経済活動の支援

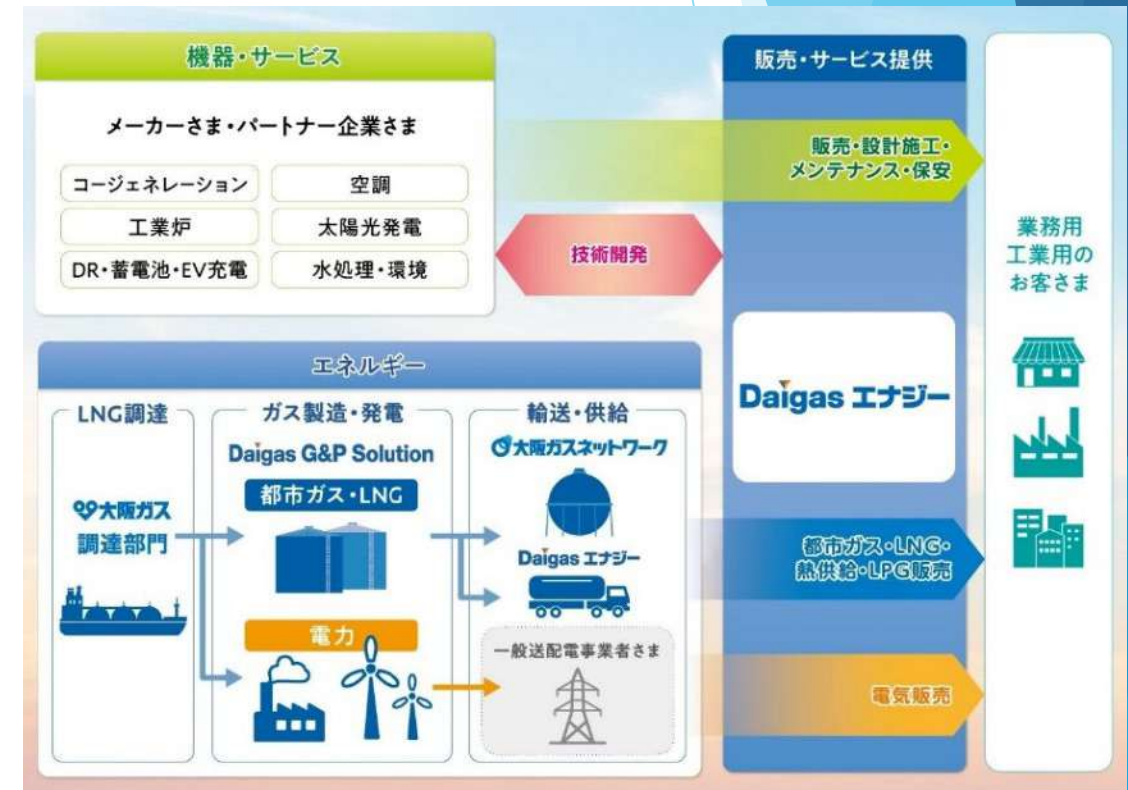
工場向けLNG輸送は製造業の稼働を支え、日本経済の基盤を支えています。

ドライバーの重要性

ドライバーは社会と経済を支える重要な担い手として日々輸送を担当しています。

物流の質の向上

安全性、持続可能性、現場負担軽減を含め物流全体の質向上が重要な責務です。



安全に対する基本的な考え方

LNG輸送における安全と見える化の重要性

高い安全基準の必要性

LNGは極低温の高圧ガスであり、輸送と荷卸しに高い安全性が不可欠です。

現場の作業立会い

輸送後の荷卸しはドライバーと納入先担当者が慎重に立ち会い、事故防止に努めます。

運行状況の見える化

車両の位置情報や到着・出発等の運行情報の可視化により、遅延や滞留に気づきやすくし、関係者間の情報共有を支援します。

安全対策の基盤

見える化は事故防止だけでなく、現場の安全確保を支える重要な取り組みです。



traevo Platform導入の背景

出会いと当時抱えていた業務課題

Before

デジタコ → 各社・各システム
で個別管理

動態管理 → 別システムで
管理

(2つ操作)

※ドライバーは複数機器
の操作が必要



After

デジタコ → traevoPlatform
で集約

※一元的に管理
ドライバーの操作減少

負担増

**「一元化」
「負担軽減」**

代替手段の必要性

「動態管理サービス」終了に伴い、新たな動態管理システムの導入が急務となっていた。

※動態管理：車両の現在位置、走行状態、到着・出発状況などを把握する管理のこと

二重操作の負担

ドライバーがデジタルタコグラフと動態管理システムの両方を操作し、現場の負担が増加していた。

デジタコ統一の困難さ

輸送会社ごとに異なるデジタコメーカーのため、統一が難しく全体把握が困難だった。

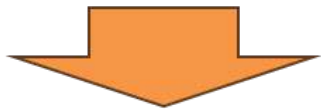
traevo Platformとの出会い

メーカーを問わず情報を集約できるtraevo Platformは課題解決の大きな転機となった。

traevoPlatform採用の決め手

一元管理・ドライバー負担軽減・コスト面の評価

■【委託先の運送会社群】
(異なるメーカーのデジタコが混在)
● 運送会社A (Y製デジタコ)
● 運送会社B (T製デジタコ)
● 運送会社C (D製デジタコ)



■【データ統合 (traevo) 】
(API連携 / クラウド)



■【荷主 (DGE) 】
(1つの画面で一元管理)

情報の一元管理

メーカーを問わずデジタルタコグラフ情報を一元管理し、全体の運行状況を俯瞰可能。

ドライバー負担軽減

デジタコと動態管理の重複操作を減らし、ドライバーの作業負担と安全リスクを軽減。

コスト面の評価

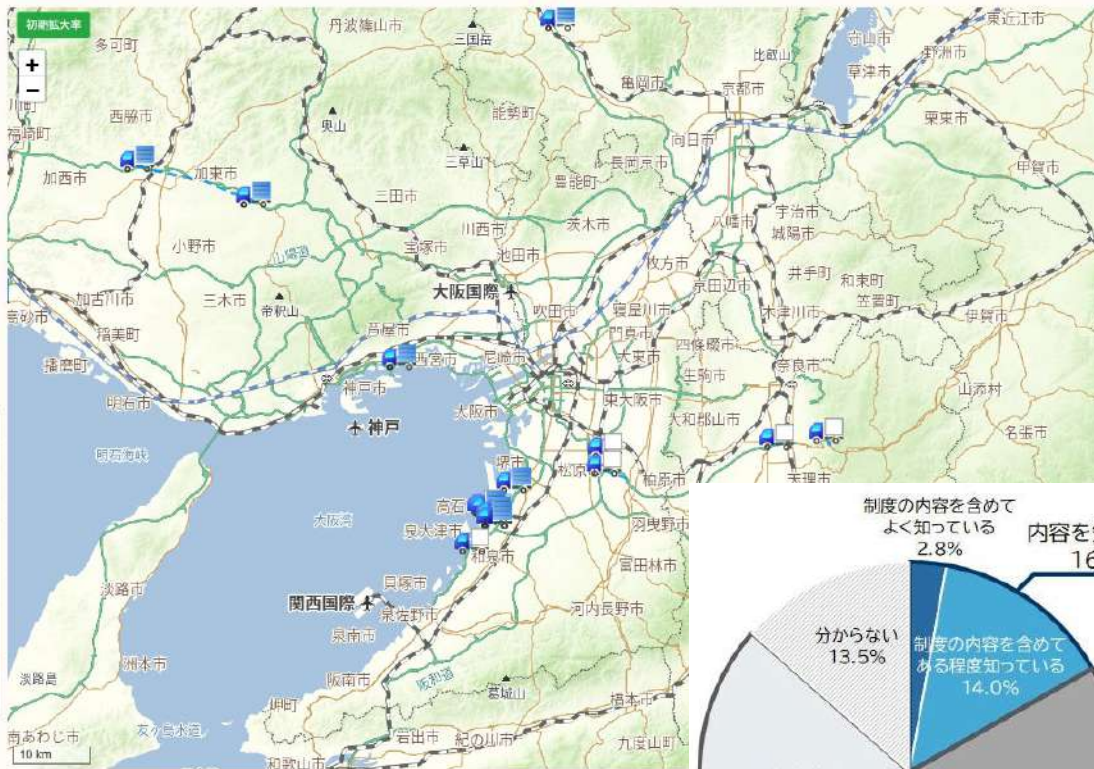
既存機器の活用により新規設備追加不要で、導入コストを低く抑えることができた。

柔軟な対応力

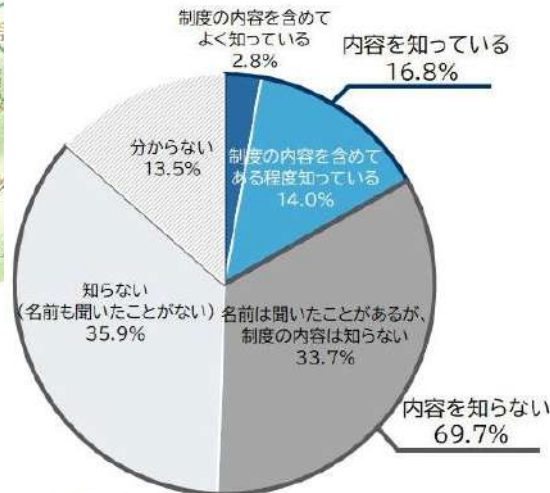
運用上の要望に応じた機能面の対応により、現場実態に即した活用が可能

導入効果と今後の姿勢

荷主責任・法令順守・物流2026年問題への取り組み



「物流は任せきりでは成り立たない」



改正物流効率化法の認知状況

運行状況の可視化

traevo Platform導入で運行状況をリアルタイムに把握し、迅速な対応が可能になった。

法令順守の強化

長時間労働抑制や適正運行管理に荷主が積極的に関与し法令順守を推進している。

物流2026年問題への対応

物流業界の課題に対し見える化と安全確保で持続可能な物流体制を構築している。

【出典】帝国データバンク：改正物流効率化法に関する企業の意識調査（2026年4月）

ご清聴ありがとうございました